

学校園の健康診断ボランティア



学科・専攻 関西福祉科学大学
健康科学科

担当教員 山本 訓子

連携先

各府県市教育委員会
(柏原市、大阪府、奈良県等)



プログラム内容

健康科学科の養護教諭志望学生が、健康診断の事前準備、実施、事後措置を学校で体験することで、健康診断の実施方法について実践的に学ぶことができ、子ども理解を深めるとともに、教職員との連携や養護教諭の職務について考えることを目的としている。

成果・考察

奈良県は高等学校4校と特別支援学校1校に対して11名が活動を行った。柏原市は小学校8校、中学校5校、計13校に対して参加学生のべ人数は小学校37名、中学校11名の計48名であった。

また、学園内高校に対しては学園内高校の出身者も積極的に参加し、32名が活動を行った。さらに歯科検診の記録係など大阪府立豊島高等学校へ16名が参加した。

今年は、ホームカミングデーなどで要望があれば、学生をボランティア派遣できることもお知らせしたところ、卒業生からの依頼もあった。大和高田市立高田商業高校、大阪市立歌島中学校、豊中市立新田南小学校へのべ8名の学生を派遣した。秋の就学时健康診断には、73名が参加した。

健康診断ボランティアを通じて、養護教諭の姿を身近に感じ、大学での学修意欲につながっている姿が見られる。

学園内高校



ボランティア担当から

今年もたくさんの学生が健康診断ボランティアに参加してくれました。ボランティア先の養護教諭の先生からは、★お願いした以上のことも、機転を利かせながらお手伝いしていただき、とても助かりました。

★ボランティアの学生さんが本当によく動いてくださり助かりました。皆様、すぐにでも養護教諭の執務に入れると思いました。

★大学1年生と思えない落ち着いた雰囲気で大活躍していただき、役割にあたっている本校の教諭よりも、私たち養護教諭のかゆいところに届く働きぶりでした！と温かな感謝の言葉をいただきました。



関西福祉科学大学
健康科学科 4年生
山下 沙也加

母校の大和高田市立高田商業高校の健康診断ボランティアに参加しました。内容は、内科検診と眼科検診の誘導のお手伝いです。

養護教諭の先生には、高校生時代に大変お世話になっていて、進路に悩んだ時に、健康科学科を勧めてくれたのも養護教諭の先生でした。そして高校の卒業時から、健康診断の時期は、お手伝いすることを約束していました。

先生との約束通り、大学4年間、たくさんボランティアをすることができました。